

## 29【P2】Ⅱ-338

特殊飼料摂食へアレスマウスにおけるドライスキンの発症に及ぼす必須脂肪酸の影響  
○友澤 潤子<sup>1</sup>, 藤井 正徳<sup>1</sup>, 水谷 暢明<sup>1</sup>, 奈邊 健<sup>1</sup>, 段野 貴一郎<sup>2</sup>, 河野 茂勝<sup>1</sup> (1 京都薬大薬理,<sup>2</sup>滋賀医大皮膚科)

【目的】以前より本教室では、HR-AD 用精製飼料 (HR-AD) をへアレスマウス (HR-1) に摂食させることにより、ドライスキン症状が誘起されることを明らかにしてきた。しかしながら、本ドライスキンの発症に関与する因子は不明である。そこで我々は、HR-AD 中に欠乏している n-6 系必須脂肪酸であるリノール酸および n-3 系必須脂肪酸であるリノレン酸のドライスキン発症に及ぼす影響について検討を行った。

【方法】種々用量のリノール酸またはリノレン酸を HR-AD に添加した飼料を HR-1 に 4 週齢より継続的に摂食させ、皮膚水分含有量 (DWC) および経皮水分蒸散量 (TEWL) を経日的に測定することによりドライスキンの程度を評価した。また、HR-AD 摂食によりドライスキンを発症した HR-1 の血漿中脂肪酸をガスクロマトグラフ質量分析計により分離分析した。

【結果】HR-AD を継続的に摂食させた HR-1 では、経日的な DWC の低下および TEWL の上昇を示す、ドライスキン症状の悪化が認められた。これに対して、リノール酸を添加した HR-AD を摂食させた HR-1 では、飼料中のリノール酸量の増加に依存してドライスキンの発症が抑制された。さらに、リノレン酸を HR-AD に添加した飼料を HR-1 に摂食させることによってもドライスキンの発症が抑制された。また、HR-AD 摂食によりドライスキンを発症した HR-1 の血漿中脂肪酸量は、ドライスキンを発症しない普通飼料を摂食させた HR-1 のそれに比して著明に低下していた。

【結語】HR-AD 摂食によるドライスキンの発症には必須脂肪酸の欠乏が関与することが明らかとなった。